

# 小海中だより

2022. 9. 27  
NO. 6

小海中学校ホームページ<<http://www.koumi-jhs.ed.jp/>>からもご覧いただけます。



## 9月16日・17日に清流祭が行われました

### 1日目

#### 準備の時間

1日目まずは全校で準備がありました。協力して準備をすすめていました。さあいよいよ清流祭が始まります。そんな気持ちも盛り上がってきました。



#### 開祭式

いよいよ始まります。保護者の皆様、来賓の方々のご参加に制限をさせていただくなど、感染拡大防止へ最大限の配慮をして行いました。



開祭式の様子



小学6年生も見学に来校



菊原あやめ実行委員長の挨拶

### 菊原あやめ清流祭実行委員長の挨拶

第40回清流祭がいよいよ始まります

今年は「花～挑戦という種をまき、成功という大輪の花を咲かせよう」を生徒会テーマ、そして清流祭テーマとして活動しています。このテーマには全校一人ひとりがいろんなことに挑戦し、たくさんの成功につなげていくという思いが込められています。

日頃の生徒会活動では、各委員会でのチェック活動、アルミ缶収集といった活動を通して、学校生活をより良くし、地域の方々と触れ合い貢献しようとしています。

そして清流祭にむけての準備では、各クラスで体育祭、音楽祭にむけて大縄、リレーの練習、各クラス、学年で素敵なハーモニーをつくる合唱に一人ひとりが精一杯取り組む姿がありました。生徒会では、清流祭をよりよくするために全校で考え自ら動く姿がありました。

このような活動を通し、全校の団結力が1学期よりも高まったのではないのでしょうか。

この清流祭では今まで高めてきた団結力を発揮する場です。クラス、学年で絆を深め、さらには学年を超えて団結して行ってほしいと思います。

3年生にとっては最後の清流祭です。悔いの残らない楽しい清流祭にしましょう。

この1日半で全校一人ひとりがいろんなことに挑戦し、学校中を大輪の花で埋め尽くしましょう！(笑)

## 対話活動

タブレットの時間外の利用について全校でグループごとに考えました。色々な問題点を自分たちで考えていました。そしてさらにルールを決めるとするならどんなルールが良いかを考えました。最後に、教育活動に使うというルールを守っていくにはどうしたらよいかを考えました。



## 展示見学

各学年の展示物を見学しました。それぞれの学年にそれぞれの良さがあると感じました。異学年の展示物を見学するまなざしは真剣で、自分もこうやってみたいという願いが込められていました。展示箇所の見学時間は長くはありませんでしたが多くを吸収できたようです。



## 吹奏楽部発表



学園天国からスタートし official 髭男 **dism** のメドレーと続いていきました。途中3年生のソロがあるなど会場から手拍子が鳴り止まず、とても盛り上がったステージとなりました。また、コンクールで演奏した曲はとてもしっとりとして感動的な曲でした。ラストに **WB9** というダンスチームによるダンスも入り、アンコールもありとても盛り上がった演奏となりました。

## 体育祭

天候に恵まれて、暑すぎない曇天の中、体育祭が行われました。やはり3年生の迫力には圧倒されましたが、どの学年どのクラスもミスをしてもお互いを励まし合う姿が見られました。すばらしかったです。





# 2日目

## ステージ発表

1年生は地域巡り、2年生はトレッキングの様子など、3年生は修学旅行の奈良京都についてそれぞれが発表しました。



そしてその後は有志発表として「Cicek」によるダンス発表や「月光花」によるデュエットがありました。今年度初めての試みでしたが、すばらし表現でした。



Cicek のダンス



月光花の歌

## 音楽祭

どのクラス・学年も素晴らしい合唱に仕上げていました。

二年一組



二年二組



二学年合唱



一年二組



一年一組



一学年合唱



三年一組



三年二組



三学年合唱



## 閉祭式

各種の表彰、実行委員長の閉祭の言葉に続き、校長から最後に以下の様な話がありました。



この2日間、みなさんの輝く姿、「感動」「充実感」いっぱいの素晴らしい清流祭でした。2つのことを話したいと思います。それは「表現し、伝える」と「つながりを楽しむ」の2点です。

「表現し、伝える」は対話活動・学年発表やフリーステージ・展示発表がそれにあたります。生徒会企画では、グループでの対話活動をもとに思いや考えを共有しました。これまでの「伝える」から「伝え合う」に進化していく取組だったと思います。学年発表もみなさんが取り組んだ行事や活動の様子、そして各学年の協力やまとまりがよくわかるものだったと思います。初めての試みであったフリーステージもまさに「挑戦」そのものであったと思います。勇気を持って発表に臨んだみなさんにエールを送ります。全校生徒のみなさんも様々な場面で「挑戦」を続けることを願っています。ステージバックをはじめとする全ての展示物・掲示物等は、これまでのみなさんが学習や生徒会活動、清流の時間等を通して学んできた学習の成果がよく表れていました。

これらの「表現し、伝える」は、みなさんに次のような問いを投げかけています。それは「あなたはどう思う？」「あなたはどう考える？」という問いです。そこからさらに相手を意識した「伝え合い」「語り合い」が始まります。これからの学習の中でも大切にしながら心を豊かにしていきましょう。

「つながりを楽しむ」は吹奏楽部発表・体育祭・音楽祭がそれにあたります。

吹奏楽部は3年生部員にとっては最後のステージでした。一曲一曲に思いを込めた演奏は練習に励み仲間と共によりよい音色を追究してきたことがよく伝わってきました。本当にお疲れ様でした。素敵な演奏で会場のみんなをつないでくれたことに感謝したいと思います。

体育祭では、クラスで、そしてクラスだけでなく学年を超えて応援したり励まし合ったりして挑戦する姿は本当に素晴らしかったです。体育応援委員会のきびきびとした活動も楽しいひとときにつながっていたと思います。

全校、各学年、各クラスの合唱では、みなさんの姿や歌声に心を動かされました。特に3年生の姿は、仲間と共に心を合わせて精一杯一生懸命に歌うことの素晴らしさ、「つながり合う」というめざすべきものを全校に示してくれました。

この2日間を通して、私が強く感じたことは、みんなの願いや目標を達成するには、1人の力や努力だけではできないということです。多くの仲間の協力・支え・励ましがあって、そして地道な1日1日の積み重ねがあって、はじめて達成に近づいていくのだということです。

ちょっと昔の歌（17年前）「ここにしか咲かない花」の一節を紹介します。

何も無い場所だけれど ここにしか咲かない花がある  
ここにしか咲かない花 ここにしか吹かない風  
ここでしか聴けない歌 ここでしか見えないもの…

これからも小海中のみなさん一人一人の花、クラスの花、学年・学校の花、ここにしか咲かない花を大切にしていきたいと思います。

最後に、ここまで中心となって活動を進めてくれた白川生徒会長、菊原実行委員長をはじめとする生徒会役員のみなさん、お疲れ様でした。「挑戦という種が成功という大輪の花となって咲く」ことを具現化するために、これまでの生徒会活動やこの清流祭でも「種を育てて花を咲かせる」機会をたくさんつくってきてくれました。ぜひ今後も「団結」「協力」「美しさ」を大切に活動を継続していきましょう。

また、その思いを共有し、同じ目標に向かって協力して取り組んだ全校生徒のみなさん、本当に素晴らしい姿でした。その陰には先生方をはじめ多くの方々を支えたことも忘れないでください。

終わりにになりましたが、地域の皆様、そして常日頃からあたたかく支えてくださっている保護者、ご家族の皆様から感謝申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。